



夏休み前全校集会校長講話



皆さん、今日は。4月の開校式からみんなで頑張ってきた
箒根学園ですが、明日からはいよいよ夏休みが始まります。
とっても楽しみです。夏休みを前にして、今日は
「箒根学園あすなろ物語～君たちならきっとできる、
ぜったいできる～」というお話をしたいと思います。



皆さんはあすなろの木を知っていますか？写真の左側の木です。高さは10メ
ートルくらいだそうです。右側の写真は世界最高の木と言われるひのきです。丈夫で
とても良い香りがする木で高さは30メートルくらいになるそうです。あすなろの
木とひのきを見比べて、気付くことはありませんか？そう、形がそっくりですね。
あすなろの木は明日こそは立派なひのきになりたくて、「明日こそはひのきになろう、
明日こそはひのきになろう」と一生懸命頑張っているの、「あすなろの木」という
名前になったそうです。

さて、話は変わりますが、7月8日に関谷地区のお祭りがありましたね。いった
人は手を挙げてください。沢山の人が行きましたね。実はコロナ禍ですっとできな
かったお祭りですが、地域のお年寄りが増えて、山車をひく人が少なくなって、地
域の方が困っていました。そこで、学校としても何かできないかと「地域・学校お
助け隊」というボランティアを急遽結成して、お手伝いをすることにしました。す
ると、25人もの箒根学園生が「やります」と集まってくれました。沢山いたので
とっても驚きました。

いよいよ4年ぶりにお祭りが始まりました。校長先生にとっても初めての経験で
す。箒根学園の子供たちはどれくらい来てくれるかとちょっぴり心配でした。でも、
心配はいりませんでした。

沢山の友達がお祭りに来て、山車を引き、ワッショイワッショイとかけ声をかけてくれたから
です。年々人手が減って、このままではお祭りがなくなるという心配が嘘のように、
沢山の人が集まってくれました。駐在さんも、お祭りの代表の方もこの笑顔です。
ジュースを配ったり、ガラ巻きでゲットしたお菓子を、お年寄りの方に譲ったり、お
助け隊長の歩さんは山車のおべんに乗ってガラ巻きと一緒にさせて頂きました。
小さい学年の子供たちも、一緒に歩いて祭りを盛り上げました。

イベント会場の屋台では、隊員以外の人もどんどんお手伝いに入ってくれました。
バルーンアートのお手伝いもしました。おはやしの皆もすてきな演奏をして、お祭

りを盛り上げました。手がはなせない校長先生に変わって記録写真を撮ってくれました。先生も一緒に焼き鳥を焼きました。小さい子に優しくしていた6年生もいましたね。「できる時にできることを」ボランティアはそれが大切です。お祭りは過去最高の人出となったそうです。

大人の人と一緒にかき氷を売ったり、おつりを渡したりして、とても大変だったけど、それ以上に楽しかったのはなぜでしょう。大切なことは、自分で考えて自分から行動すること、それに気付いた人が沢山いたのではないのでしょうか。ひとりひとりの力は小さくても、みんなで助け合えば大きな力になりますね。重くて引けない山車も、すいすい引っ張れました。そこにみんながただで、祭りが大成功になりました。みんなが生まれ育った故郷は、みんなが支えて行くんですね。そのことを忘れないでください。

「街が生き返った！子供たちがたくさんきてくれた。お手伝いをしてくれてありがたかった。地域の人がみんな笑顔になった。祭りを復活して本当に良かった。箒根学園の子供たちよ、本当に本当に ありがとう！」と沢山のありがとうが学校に届けられました。

さあ、これは「箒根っこの約束」ですね。「負けるな 嘘をつくな 弱い者をいじめな！」 この三つの約束を守れた人はどれくらいいるのでしょうか？もしも、できなかったとしても大丈夫。なぜなら、私の大好きなみんななら、いつかそういう生き方ができると信じているからです。お祭りであんなに頑張ったみんなならきっとできる。いや、絶対できます。だから、箒根っこのみなさんは、いつか立派なひのきになれるあすなろの木です。ただし、それをやるかやらないかを決めるのは、みんな自身です。

8月19日にはアグリパルで花火大会があります。この前よりももっと沢山の箒根っこが、地域のために力を貸してくれることを願っています。箒根学園あすなろ物語はまだ始まったばかりです。

さあ、明日から楽しい夏休みです。元気なみんなと8月28日にお会いすることを楽しみにしています。校長先生からのお話はこれで終わりです。ありがとうございました。

